



発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065
 編集 早川清志
 題字 島崎洋路

専門コース第一回開催報告

『安全に確実に倒すために』

今日の森林に一番必要なことはやはり間伐ではないでしょうか。一千万ヘクタールの人工林のうち何割かが間伐の必要な時期に差し掛かっています。一ヘクタール当たり三千本植えたヒノキやスギ



一般的な上刃の目立て角は30°です。ゲージにあわせて

ヤカラマツは、その生長とともに順次間引いていかなければならないのですが、多くの林でその作業が滞っています。言葉は悪いが、今からでも切つて切つてきりまくらなると林は健全な状態に近づけ

ません。そしてこの間伐にチェーンソーは欠かせないものになっていきますが、基本をしつかり身に付けないと危険で侮れない道具であることは確かです。

森林塾の通年コースに来てくれた方や、集中コースの方から、今までもステップアップコースの要望がありました。がなかなか設けられずにいました。確かに通年コースに一年間通つて頂いても実際にチェーンソーを使うのはそのうち三、四回だけです。伐倒もせいぜい数本しか経験できません。ご要望にこたえ今年から九日間の専門コースとして開講してみました。伐倒の基本をみっちり学び、地元に戻ってポランティアグループの核になってもらいたいという願いからです。

『安全に確実に倒す』すべては此処からです。

専門コース
 第一回開催日程
 4月18日(木)～20日(土)

一日目 4月18日(木)
 8時30分 島崎先生の山小屋に集合。先生方のあい



事前調査で三百二十本あった樹木を最終的には八十本程度まで落とす予定。保残木にテープでマーク。上層木は二十四、五メートルはあるアカマツで他にヒノキ、カラマツ、サワラや広葉樹が混じる。アカマツのほか、ヒノキ数本とカラマツ、クリ、コシアブラなどが残ることになった。11時 イントラによる基本の伐倒

12時 昼食

2時 二班に分かれて伐倒開始。今年初めて開催された専門コースは一人です。山に入り、間伐ができる、というところを目指して行なわれます。伐倒の技術力アップです。地形、重心の位置、集材の方法などを考慮に入れて倒す方向を決め、安全な方法で間違いなく決めた方向に倒

さつ、イントラ、事務局、塾生の自己紹介。日程説明、施業方針の確認等

9時30分 ますみヶ丘平地林の実践する林分へ歩いて移動。全部で八十ヘクタールほどもあるこの平地林は手入れが滞った林が多く、そんなところは市が買い上げるか管理委託を受け、順次手入れをして森林公園にしようという計画がある。五月十八日に開催予定の長野県植樹祭もこの平地林の一角で行なわれる予定。今回の現場に使わせてもらった所は市が買い上げた林分で面積は二反四畝。



パーが少し前下がりがかな?



受け口が正確にできれば伐倒は八割方成功です。

5時30分 交流会開始。久しぶりに島崎先生のハイモ

二力を聞く。最近新調したらしい。何本かの一升瓶やつまみの差し入れ、ありがとございました。

9時 一応解散

二日目 4月19日(金)

8時30分 島崎先生の山小屋に集合。すぐに現場に移動。体操の後、伐倒開始。三日間で四人のイントラ全員の説明が聞けるよう、イントラのローテ

4時 本日の実践終了。先生方のあいさつ。今日は一人二本くらいは倒せたかな

せる、これが最終的な目標です。実際の山仕事では不測の事態も考えられるため、二人以上の組で仕事をするのが普通ですが、伐倒はひとり一人です



高い所を苦にしない人達ばかりでした

上達して
きました。
伐倒方向
の判断、
牽引など
をすべき
かどうか、
だんだん
判ってき
ました。
三日間で

12時 昼食
1時 伐倒再開
4時 本日の実践終了。小屋
に戻りチェーンソーの目
立て講習
4時30分 解散
三日目 4月20日(土)
8時30分 島崎先生の山小
屋に集合。現場に移動し
まず体操。次に昨日覚え

たチェーンソーの目立て
を各自やってみる。今日
最初に使うのは自分の研
いだチェーンソー。よく
切れますかどうか。結果
どうやら大方よい切り粉
ができていたようです。
コツはゆっくり丁寧に
12時 昼食
1時 伐倒再開。三日目も終
わりに近づき、皆さん目
に見えて



ごちゃごちゃ鍋を囲んで山小屋の夜は更けていく



暗かった林が



少し明るくなった

一人十本くらいは倒せた
でしょうか

3時40分 実践終了。小屋に
戻り反省、感想等。午後島
崎先生も顔を出してくれ
て講評をしてくださいま
した

4時40分 解散。お疲れ様で
した。次回七月初めにま
たお会いしましょう。イ
ントラ大野の出した宿題
を忘れずに

参加者/稲垣さん、大月さ
ん、小川さん、片岡さん、
金子さん、小泉さん、小
さん、塩田さん、藤本さ
ん、宮川さん、吉柴さん
講師/保科先生、島崎先生
スタッフ/大野、川島、後藤、
椎原、坂野、早川

次回以降の予定

通年コース 第一回・二回
5月10日(金) 植林

8時30分 島崎先生の山小
屋に集合。伊那市西春近真向
原にあります。下殿島区有林
をお借りしてヒノキの植林を
します。多少の雨なら予定通
り行ないますので雨具をお忘
れなく。あればヘルメット、
ナタ、ノコ。お弁当。

お昼には簡単なオリエン
テーション、そして自己紹介
など。事務局にて豚汁を用意
します。終了後、道具屋さん
が小屋に来てくれるはずで
すので、ナタ、ノコをこの際揃
えたいという方は相談して
ください。

夕方から希望者による交流
会を計画しています。ご都合
のつく方は是非ご参加くださ
い。また参加される方は近く
に宿をとられることをお勧め
します。

植林担当講師は保科先生、
島崎先生

5月11日(土) 樹木分類
8時30分 島崎先生の山小屋
に集合。検索分類の後、近く
の山へ。今年ももう十分に若
葉が出ているはず。あれ
ば図鑑など。標本採集には腰
びくと剪定バサミが便利で
す。お弁当も忘れずに。

担当講師は島崎先生です
第3回 5月25日(土)

測樹 8時30分 島崎先生
の山小屋に集合。森林調査の
一環です。ある林分にどんな
木が(種類、大きさ)どれく
らい(量)あるかを調べるも
のです。手入れの方法はこの
結果を元に決められます 担
当講師、早川ほか

コラム

境界線に沿って林分を一周
したあと、林道に立ち止まっ
て立木を眺める。目通りで切
断したイメージを創造すると
直径よりも大きさの違いがよ
くわかる。ふらふらと林の中
に入っていくながら林冠を見
上げる。樹幹距離も林地の傾
斜も体感している。静かに佇
んでいる間に、間伐法も間伐
率も、先柱も元柱も、集材線
も伐倒方向も、間伐後の上層
空間も十年後の姿も、デッサ
ンされる。あたりまえのよう
に下草を刈り、あたりまえの
ように選木をする。つかつか
と間伐木のところにいき、こ
ともなげに伐倒をして、こと
もなげに造材をする。毎日決

まった通い路を歩き、昼休み
に山菜や木の子を探ることも
あれば、すがれを追うことも
ある。こうして間伐後の森に
は、枝葉の積み重なり以外作
業の痕跡はなく、光の色、土
の色、樹冠の緑、空の青が彩
られ、やがてマンサクの黄色
い花が咲き、ヤマツツジの赤
い花が紅を引く。
ゆつくりとした時間の流れ
が再び森を形づくっていくこ
とを知っている仙人は、なに
ごともなかつたかのように、
この森を立ち去ってゆく。

おわりに

「マチャブチャレ」
専門コースの第一回開催が
無事終了しました。さて次は
通年コース。植林、樹木分類
で幕が開きます。植林地は十
数年前に山火事になってその
後放置された元アカマツ林。
倒れたマツの間からエゴノ
キ、イヌザンショウ、クロモ
ジ、クマイチゴなどがびっし
り生えていて、除伐、地ごし
らえに大汗をかいています。
美しい林の復活を願って。

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、
ご要望、事務局まで。
TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994



E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
mi-tsuboki@koanet.co.jp
携帯:0902-53-26375 (開催日)
H.P.http://www.koanet.co.jp